

令和元年度水道技術基礎研修の実施結果について

目的	団塊世代の大量退職により水道事業に従事する職員の世代交代が急速に進んだことや、コスト削減に伴う水道従事者の削減等により実務経験の少ない職員が増えていると推察されることから、水道従事職員の知識・技術向上を目的とした研修会を開催する。			
	講義研修			
研修概要	内容	講師	日時・場所・受講対象	
	1 水道一般	公社職員	日時：令和元年10月28日(月)、29日(火) 会場：愛知県水質試験所 対象：愛知県営水道受水団体協議会会員 参加：39名	
	2 水処理及び水質管理について	愛知県水質試験所長		
	3 酸素濃度計操作・残留塩素測定・漏水探知機操作	公社職員		
	4 送配水管の耐震について	日本ダクタイル鉄管協会		
	5 耐震管の説明	日本ダクタイル鉄管協会		
	6 配水管理について	豊橋市職員		
アンケート結果	<p style="text-align: center;">理解度</p> <p style="text-align: center;">活用度</p>			
意見・要望	感想	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の知識が浅かったため、水道の一般事項を学び、水道の基礎知識が身についた。 ・水質基準項目や水質基準値の決定方法等、普段の業務で触れることが少ない内容を学べた貴重な講義であった。 ・普段の業務で、機器類を操作することがないため、貴重な経験になりました。 ・ダクタイル鉄管について、よく理解できた。管の接続の仕組みが理解できた。 ・他市の配水の仕方は、地形など多くの要因によって異なることがわかった。 ・基礎知識として必要な研修なので水道経験が無い人には満足できる研修でした。 		
	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な内容の為、10月下旬より早い開催すると良いと感じました。 ・資料が多いのか、時間が短いのか駆け足気味の講義だったので、もう少し時間にゆとりがあると嬉しい。 ・水道法改正について、もう少し詳しく聞きたかった。 ・各機器の実習時間が短く一つ一つを掘り下げて学習したい。 ・資料の表の一部が文字が小さく読めないものがあった。・資料が白黒で判断できない箇所があった。 		
	新規要望	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体の方と交流、意見交換ができるような仕組み(グループワーク等) ・実際に管に触って作業してみる時間 ・実技が多い研修も、実施してほしいです。 ・洗管の行い方 		
研修状況	水処理・水質管理		耐震管の説明 	酸素濃度計操作
	残留塩素測定		漏水探知機操作 	配水管理
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義研修はH25の試行を経てH26から継続しているが、今年度も好評だったが、講義時間が短いとの意見が多かった。 ・H29より、対象を全団体(過去は隔年)としたが、遠距離の団体もあるため、2か所での開催を検討する。 ・過去のアンケートも含め、意見・要望を参考に改善していく。 		
	今後予定	受講対象者	愛知県営水道受水団体協議会会員(42団体)	
	開催場所	愛知県水質試験所(愛知県東郷町大字諸輪字北木戸西48-265)、他1か所(検討中)		
	開催時期	10月中下旬の2日間		